

原子力規制委員会による現地調査が行われました

- ◆ 7月22日、原子力規制委員会による、6・7号機の新規制基準への適合性審査に関する現地調査が行われました。
- ◆ 現地調査では、審査の進捗状況をふまえ、前回（2014年12月12日）の現地調査以降に設置した設備（格納容器pH制御設備や高圧代替注水系ポンプなど）や工事の状況等について、ご確認いただきました。
- ◆ 現地調査でいただいたご意見などを発電所の安全性向上に活かし、引き続き、審査に真摯に対応してまいります。



フィルタベント使用時に外部への放射性ヨウ素の放出量を減らす装置（格納容器pH制御設備）を説明する当社社員



非常時に使用する冷却用のポンプ（高圧代替注水系ポンプ）



照明が消えても現場で操作できるように、ハンドルに蛍光塗料を塗布したバルブ



発電所敷地内の展望台から6・7号機周辺の地形などを確認



原子炉建屋損壊時などに放水し、敷地外への放射性物質の拡散を抑制する大容量放水設備



免震重要棟（緊急時対策本部）にて行われた質疑応答

Newsアトムは、柏崎刈羽原子力発電所のホームページでもご覧いただけます。
<http://www.tepco.co.jp/kk-np/pr/newsatom/index-j.html>
 （柏崎刈羽原子力発電所>広報・広聴活動>広報誌NEWSアトム）